

事業所名 あゆみん福山新涯 2号店 (児童発達支援)

## 支援プログラム

作成日

2025年

1月

15日

法人(事業所)理念		その子ができることを増やし、自信をもって成長していけるよう「生きる力」を育てていきます。 生き辛さを感じている子どもと、そのご家族のために、共に考え、共に歩むことを理念としています。								
支援方針		・日常生活における基本的動作・知識・技能の習得、集団生活への適応等を支援していきます。(ソーシャルスキルトレーニング) ・子どもたちの発信を言語だけにとらわれず、思いを理解、引き出していく中で伝わることの喜びを育みます。 ・経験を積み重ねる中で、できることを増やし自信につなげていきます。・保護者の方の思いに寄り添い育児負担の軽減の役割を担います。								
営業時間		平日	10時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし	自宅⇔自宅 園所⇔自宅 園所⇔園所 ※いずれも、事業所より概ね半径3km以内
		土曜日	9時	0分	17時	0分				
支援内容										
本人支援	健康・生活	・自分の荷物を所定位置に収める等の身支度や挨拶といった基本的な生活スキルの習得を、お子さんの発達段階に合わせて支援(わかりやすい構造化、視覚支援等)をしていきます。 ・興味、関心に合わせた教材や集団活動を用意し、定期的に通っていただくことでお子さんが出来ることを増やし自立して取り組めるよう支援していきます。 ・遊びや学習機会を利用した支援、視覚的にわかりやすい環境配慮を行います。								
	運動・感覚	・サーキット、公園遊びといった粗大運動を通して、日常生活に必要な運動機能の維持、向上を図ります。 ・ボーリング、玉入れなどの活動を通して、体の使い方や力の加減を学ぶ機会を作ります。 ・学習活動の中で、ハサミ練習や糊付け、ボタンの着脱、箸の使い方等微細運動を取り入れ、適切な道具の使い方についても学んでいきます。								
	認知・行動	・絵カードやパズル、積み木等を通して、形や色・大きさについて、言葉と結び付けながら抽象的な概念を学ぶ機会を作ります。 ・数字のマッチング、数を合わせる課題学習を行い、数の概念の理解や視覚認知を段階的に学べるようにします。 ・事前に見通しが立てられるように視覚的支援を用い、理解して行動できるように支援していきます。								
	言語 コミュニケーション	・支援者や他児との遊びや会話を通して「聞く」「話す」の基盤を作り、自分も周囲の人も大切にできるコミュニケーションを学びます。 ・自分の感情を、適切な言語やジェスチャーなどで相手に伝えることによって、困った時に援助を求める等、日常生活で必要なコミュニケーションを増やしていきます。 ・支援者が間に入り、会話を展開できるよう促していきます。								
	人間関係 社会性	・集団活動を通じルールや順番等を理解することで社会性や対人関係について学んでいきます。 ・ごっこ遊びや見立て遊び、ルールのある活動を通して役割やルールに応じた行動を身に付け、個人⇒小集団⇒集団に参加できるよう段階を踏んでアプローチしていきます。 ・遊びの中で勝負けの受け入れ方や、物の貸し借りといった日常のやり取りを、お子さんと一緒に考えていきます。 ・相手の表情を読み取る力や自分の気持ちを整理し伝える力を育み、他者との関わりの形成を行っていきます。								
家族支援		・困りごとがあった時は、いつでも相談できる環境を整えます。(兄弟姉妹含) ・指定範囲内での送迎を行います。				移行支援		・園や保育所へ普段の様子の見学や、日々の園所での引き渡し時に情報共有をし、継続的な支援を行えるように連携を図ります。 ・進級、進学に際し園所と連携をとり不安感、困り感を減らしていきます。		
地域支援・地域連携		・併用事業所や各関係機関と情報共有し連携を図ります。 ・近隣の商業施設へお買い物体験等に行きます。 ・近隣の公園へ出かけます。				職員の質の向上		・内部の研修を行い、ひとりひとりの子どもへの理解を深めていきます。 ・統一した支援が行えるよう毎日の振り返りやミーティングで、支援方法を検討していきます。 ・職員の外部研修、講演会、各種勉強会への参加を奨励しています。		
主な行事等		・放デイ利用児童と一緒に出掛けたり、合同でお楽しみ会等を季節ごとに行っています。 ・避難訓練(地震津波、火災、水害年2回以上)・交通安全指導 ・季節のイベント(水遊び、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、節分等)・毎月の誕生日会								